

3 ダム湖の水質浄化のため菜の花栽培を推進

100年先までも 美しい水を残しましょう!!



団体名 特定非営利活動法人
川崎町の資源をいかす会

主な活動地域 宮城県柴田郡川崎町 釜房ダム周辺

目的

川崎町は仙台市の水瓶である釜房ダムの上流にあり、同団体は以前より釜房ダム湖の水質浄化のために、菜の花栽培や里山の萌芽更新事業などを推進してきたが、その活動をさらに充実させる。そうして100年という長いスパンで地域の活性化、環境教育を推し進め、ダム湖の水質浄化を軸にした地域循環型社会の構築をする。

実施内容

かつて里山は10年から20年で広葉樹林を伐採し、その切り株から自然に芽が出ることで森が再生され、水を貯える能力も維持できていた。最近はその能力が衰え、雨水は田畑の残留肥料を含んだままダム湖に流入している。そこで、菜の花栽培に取り組む。放置されている田畑に菜の花を植えると、残留肥料を吸収してくれ、ダム湖へ流入する水の富栄養化を防止できる。開花時の景観を楽しみながらの清掃活動や、小学生による菜種の刈り取り、搾油の体験学習を行い、その菜種油を使った給食で食育の授業なども展開する。また、助成金で購入予定の搾油機を菜種栽培農家へ貸し出したり、下流域の人々ともカーン体験などで交流を促進したりする。

選考委員のひとこと

川崎町を愛しここに移り住んできた菊地理事長は大変温和な方で、地域やこれからの若い世代を思う気持ちが熱く、その活動は一貫性、継続性があるため、助成に相応しいと判断した。インタビューを行った理事長のご自宅は森に囲まれ、薪ストーブがあり、落ち着きと気品が感じられる家だった。

TOTO 北陸支社 Yさん記

ボランティアに参加しよう!

- ★菜種の種まき 2009年10月
- ★環境学習セミナー 2010年1~3月
- ★菜の花開花見学&ダム周辺の清掃活動 2010年 2月
- ★菜の花の刈り取り体験 2010年 6月



活動の状況について資料や図鑑を使った説明がなされた



活動の中心となる釜房ダム



菜の花を楽しみながらのダム周辺の清掃活動が好評だ